

## 第五節 服 制

### ○鐵道現業員服裝規程

(昭和二三、鐵總人甲第一四號)

鐵道現業員服裝規程左ノ通制定ス

#### 鐵道現業員服裝規程

第一條 鐵道現業員ノ服裝ニ關シテハ別ニ定ナキ限り本規程ニ依ルベシ

第二條 本規程ニ於テ鐵道現業員トハ會社ヨリ社服ノ貸與ヲ受クル者ヲ謂ヒ社服トハ被服貸與規程中ニ制定セラレタル一切ノ被服ヲ謂フ

第三條 社服ハ左ニ依リ之ヲ著用スベシ

- 一 制帽及制服ハ服務中竝之ニ準ズル場合之ヲ著用スルコト
- 二 作業帽及作業衣ハ作業中之ヲ著用スルコト
- 三 其ノ他ノ社服ハ業務上必要ノ場合之ヲ著用スルコト

(註) 社服ノ著用期間ハ被服貸與規程第三條ニ依ル

第四條 社服著用ニ際シテハ左ノ各號ヲ厲行スベシ

- 一 服裝ハ端正ヲ旨トスルコト

(註)

- 1 公衆ニ接スル場合ハ特ニ容姿ニ注意スルコト
- 2 服裝ニ因リ傷害ヲ被ラザルヨウ注意スルコト
- 3 常ニ頭髮鬚髯ノ手入れヲ爲スコト
- 二 社服ハ常ニ清潔ヲ保持シ手入ヲ爲スコト
- 三 帽子ハ正シク戴キ頸紐ヲ緊締シ日覆ヲ附セザルコト
- 四 襟章ハ許可セラレタルモノニ限り左襟ニ附スルコト但シ接客従事員職番號襟章ヲ附スル者ニ在リテハ其ノ襟章ヲ左襟ニ、他ノ襟章ヲ右襟ニ附スルコト
- 五 折襟背廣服著用者ハ左ニ依ルコト
- 1 ネクタイ 制服ト同色ノ蝶結又ハ普通型但シタキシード型制服著用者ハ蝶結ニ限ル
- 2 カラー 正式 白色ハード・シングル  
略式 白色ソフト・ダブル
- 3 ワイシャツ 白色但シ接客ニ従事スル者以外ハ隨意
- 六 腕章ハ左腕ノ上膊部適當位置ニ帶用スルコト
- 七 靴ハ茶褐色又ハ黒色ノモノヲ穿ツコト
- 八 第五條第二號該當者及警備關係従事員ハ服務中成ルベク制服ト同色ノ巻脚絆ヲ著用(半ズボン著用ノ場合ヲ除ク)スルコト

九 社服ヲ異式ニ改變セザルコト

第五條 左ニ該當スル者ニ限り左ニ依ルコトヲ得

八九六

## 一 旅客專務

原本

八九七

夏季略服(立襟詰襟型、白地其ノ他制式ハ一般制服ニ同)ノ著用

前項ノ場合制帽ニ日覆ヲ附シ白靴ヲ穿ツコト

二 驛構内、保線、電氣、建築關係其ノ他接客ニ従事セザル屋外勤務常務者

1 地下足袋ノ著用

2 夏季略帽(ボーイスカウト型麥藁帽又ハ國防色地ノ運動帽ニ限ル)及制服ト同色ノ半ズボンノ著用  
前項ノ半ズボンヲ著用シタル場合ハ成ルベク長靴下ヲ穿チ制服類似色ノシャツヲ著用スルコト

第六條 病傷其ノ他已ムヲ得ザル事由ニ因リ成規ノ服裝ヲ爲スコト能ハザル場合ハ所屬長ニ其ノ旨届出テ許可ヲ受クベシ

第七條 非番其ノ他ノ場合ト雖社服ヲ著用シタル場合ハ前條ニ依リ服裝容姿ヲ端正ニシ苟モ社員ノ品位ヲ傷クルガ如キコトナキヨウ留意スベシ

第八條 所屬長ハ常ニ社員ノ服裝狀態ニ留意シ點呼其ノ他ノ機會ニ於テ之ガ検査ヲ行ヒ其ノ整正ニ努ムベシ

## ○鐵道總局非現業員ノ被服ノ制式

(昭和二三、五  
鐵總人丙第四號)

鐵道總局非現業員ノ被服ニ關シテハ左ニ依ルベシ

一 鐵道總局所屬非現業員ノ被服(以下被服ト稱ス)ノ制式ハ左ノ通トス

種 別	制 帽		制 服		外 套
	第一種制帽	第二種制帽	夏服	冬服	
色 合	綠茶色(國防色) 標準トス	右同	右同	右同	右同
地 質	隨意(羅紗地、小倉地等)トス但シ 帽草ハ各長テ含ム又ハ主任 以上者並之ト同等ノ職ニ在ル者ハ 金色モール製トシ其ノ他一般者ハ 金色金屬製トス	隨意(羅紗地、小倉地等)トス	右同	右同	右同
制 式	海軍天張型、黑革製前庇及同質ノ 直紐ヲ附シ鉢巻ニ飾等ナシ帽草ハ 高梁ニテ抱カシム(一般現業員ニ 同)	中折帽型、鉢巻紐リボン附	上衣前折襟背黃型、前釦三箇一 行、チヨツキ前釦五箇一行又ハス 行、袖及背面ニバンド其ノ他ノ飾 ナシ 袴普通型	上衣前折襟背黃型、前釦三箇二 行、チヨツキ前釦五箇一行又ハス 行、袖及背面ニバンド其ノ他ノ飾 ナシ 袴普通型	兩前折襟型、前釦三箇二行背面背 筋ニ併行シ折込ノ餘裕ヲ作り附ス ドヲ附シ下部留ヲ切目ヲ附ス ズ(襟及裏等ヲ毛皮附トスルヲ妨ケ
釦	金色無地平釦ヲ 標準トス		右同	右同	右同

前項所定以外ノ點ニ關シテハ隨意トス  
標準制式別圖ノ通

八九八

原本  
八九九

- 二 左ノ箇所所屬ノ非現業員ハ服務中竝ニ準ズル場合本被服ヲ著用スベシ
- 1 鐵道總局(本局)
- 2 鐵道局(本局)、鐵道建設事務所、鐵道監理所
- 三 本被服ノ著用方ハ左ニ依ルベシ

著用箇所	種別	制	制	外
前號1ノ箇所	第二種制帽 但シ左ニ依ルコトヲ得 一 特ニ指定シタル場合ヲ除キ普通帽子ノ著用 二 冬期防寒帽子（制式隨意）ノ著用	所定ニ依ル		所定ニ依ル但シ普通 外套ノ著用ヲ妨ケズ
前號2ノ箇所	第一種又ハ第二種制帽但シ冬期防寒帽子（制式隨意）ノ著用ヲ妨ケズ	右同		右同

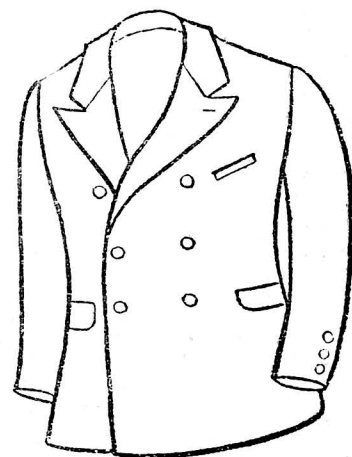
四 本被服ハ自辨トス

五 本被服ノ著用實施期日ハ別ニ之ヲ定ム

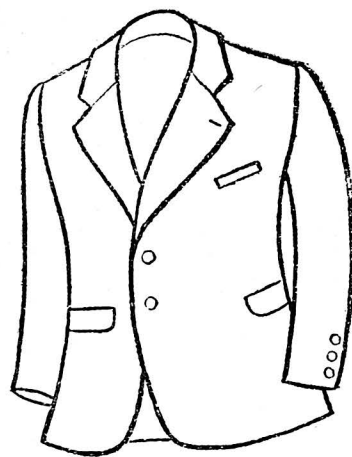
六 第二號以外ノ非現業員ニ對シテハ當該所屬長ニ於テ前各號ニ準ジ本被服ヲ著用セシムルコトヲ得

圖略

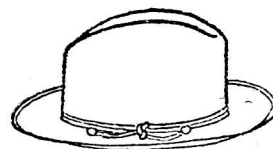
冬制服



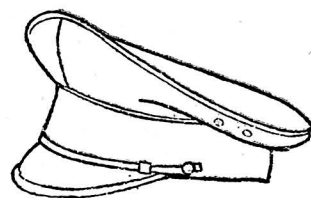
夏制服



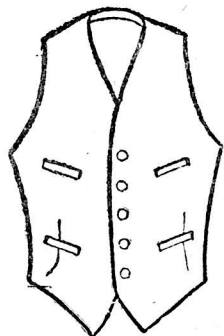
第二種制帽



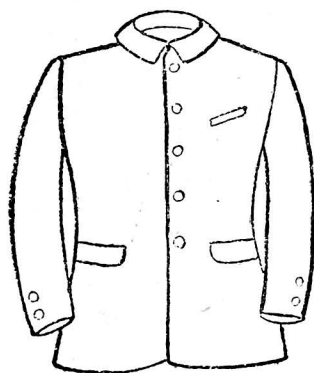
第一種制帽



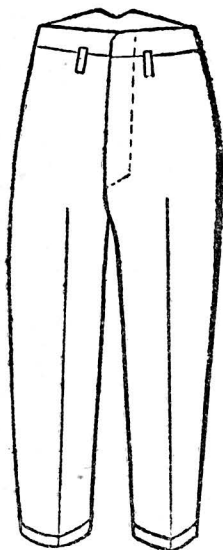
チヨツキ



制服 (詰襟)



袴

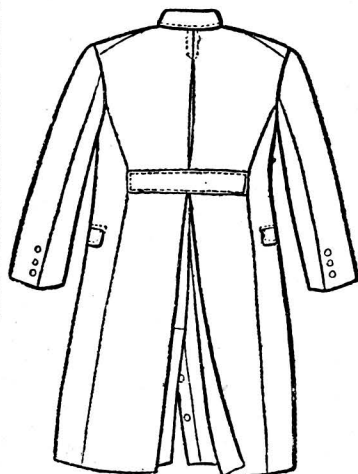




套



外套(背面)



九〇二

<p>監理員襟章 品質 眞鍮 七寶製 寸法 直徑 一・五 樣式 厚サ 一・二 別掲第三號ノ通</p>	<p>鐵道監理所長及監理員ニシテ職務執行ノ場合</p>	<p>左襟</p>
<p>鐵道見習襟章 品質 眞鍮 臺 寸法 縱 一・二 樣式 横 三・〇 黒地ニ「鐵道見習」ト金色ニテ文字ヲ刻ス</p>	<p>鐵道見習ニシテ制服著用ノ場合</p>	<p>左襟</p>

追一三六一

第二條 監理員襟章ノ番號ハ鐵道局長ニ於テ左ニ依リ之ヲ指定スベシ

錦州鐵道局 自一番 至九九番

吉林鐵道局 自一〇一番 至一九九番

牡丹江鐵道局 自二〇一番 至二九九番

哈爾濱鐵道局 自三〇一番 至三九九番

齊齊哈爾鐵道局 自四〇一番 至四九九番

第四條 轉勤、轉職、退職、非役、待命、卒業、退學又ハ死亡等ノ爲ニ歸シタル場合ハ返納スベシ但シ同一系統ニ

轉勤ノ場合業務系統別襟章ハ着用ノ儘赴任セシメ物品保管轉換調書ヲ以テ引繼グベシ

第五條 亡失又ハ毀損シタルトキハ新ニ貸與シ左ニ依リ辨償金ヲ徵收シ當該箇所ノ相當科目ニ收納スベシ

業務系統別襟章  
金十五錢

養成機關 襍章 金十七錢

監理員襟章 金二十錢

錢道見習襖章 金八十錢

監理員襟章ヲ亡失シタルトキハ鐵道局長ハ當該番號缺號ノ旨適宜公示スベシ  
第六條 襟章ノ取扱方ハ昭和十四年五月總總經調甲第一號鐵道總局貸與品取扱手續ノ共用扱ヲ準用スルモノトス  
(襟章樣式)

一號 業務系統別襟章  
一 圖式(除旅館)



社紋ハ金色若ハ銀色トス

業務系統別地色左ノ通

驛(大連埠頭局所管ヲ除ク)

列車區

機關區

檢車區

工務區(大連埠頭局ヲ除ク)、工事區(大連改良事務所所管ヲ除ク)

電氣區(大連埠頭局所管ヲ除ク)、電氣修繕場

自動車營業所

電信所(大連埠頭局所管ヲ除ク)

食堂營業所

大連埠頭局所管全員、船舶區、埠頭

大連改良事務所所管全員

赤色 黃色 深綠色 紫色 白色 綠色 樺色 淡紅色 藤色 青色 黑色

林區、林業所

空色


二 圖式(旅館)



地色 社紋 文字  
黑色 黃色 白色

第二號・養成機關襟章

簡	所	圖	式	地色	社紋	文字
鐵道學院				藍色	黃色	白色
鐵道技術員養成所				黑色	黃色	白色
鐵道工務員養成所				白色	黃色	黑色

工作工養成所	工務員養成所ト同一	綠色	黃色	白色
鐵道局(埠頭局)教習所		赤色	黃色	白色
船舶技術員養成所		青色	黃色	黒色

第三號 監理員襟章

圖式



地 色  
社 紋  
文 字

黒 色  
黄 色  
白 色

裏面臺地ニ番號(算用數字)ヲ刻字ス

○鐵道總局腕章規程

(昭和十四、鐵總人甲第三七號)

改正 昭和十四、五鐵總人甲第一二號 昭和十五、九鐵總人甲第一六號  
同 昭和十七、六鐵總人甲第一七五號

鐵道總局腕章規程左ノ通制定ス

鐵道總局腕章規程

第一條 鐵道總局腕章ノ制式及著用範圍ハ左ニ依ルベシ

種 別	地 質	制 式	著 用 範 圍
イ 驛 長	羅 紗	「羅紗」ト白羅紗ニテ文字ヲ縫著ク	驛長ニシテ防寒帽著用ノ場合
ロ 助 役 同		「三密」ト白羅紗ニテ文字ヲ縫著ク	助役又ハ事務助役(旅客關係)、構内助役ニシテ防寒帽著用ノ場合
ハ 旅 客 案 内 同		「客案」ト白羅紗ニテ文字ヲ縫著ク	案内員及警手ニシテ旅客案内ニ從事スル場合
ハノ二 船 舶 事 務 長 同		「客案」ト白羅紗ニテ文字ヲ縫著ク	船舶事務長ニシテ乗務ノ場合
ハノ三 船 舶 事 務 員 同		「客案」ト白羅紗ニテ文字ヲ縫著ク	船舶事務員ニシテ乗務ノ場合
ニ 指 導 者 同		「指導者」ト白羅紗ニテ文字ヲ縫著ク	昭和二年四月鐵道甲第一號鐵道運輸取扱心得第三百七十七條並康徳元年五月總局達機甲第十一



ホ	通票授受者	白色木綾又ハ代用品	〔白羅紗〕ト赤色ニテ文字ヲ染出ス	號、鐵道總局鐵道運轉取扱心得第二百七十一條及昭和十年六月管運甲第五十號北鮮鐵道管理局運轉取扱心得第二百一十一條ニ依リ著用ス
ヘ	車掌	紺羅紗	〔紺羅紗〕ト白羅紗ニテ文字ヲ縫著ク	昭和二年九月鐵道運轉第三十八號閉塞機ニ關スル取扱方第五條並康應元年八月總局達鐵甲第十九號停車場ニ於テ列車著發ノ場合ニ於ケル取扱方第十一條及昭和十年六月管運甲第五十號北鮮鐵道管理局運轉取扱心得第二百八條註ノ三ニ依リ著用ス
ヘ	列車給仕	濃褐色羅紗	〔紺羅紗〕ト白羅紗ニテ文字ヲ縫著ク	車掌ニシテ旅客列車ニ乗務シ客扱ヲ爲ス場合及自動車車掌ニシテ自動車ニ乗ル場合
ト	乗務列車手	海老茶色羅紗	無地	列車給仕及列車給仕ニ從事スル乗務列車手ニシテ乗務スル場合
ト	本船掛	綠色羅紗	〔紺羅紗〕ト白羅紗ニテ文字ヲ縫著ク	乗務列車手ニシテ乗務スル場合
チ	縦列長	紺羅紗	〔紺羅紗〕ト白羅紗ニテ文字ヲ縫著ク	本船員ニシテ荷役作業ニ從事スル場合
リ	事故復舊指揮者	白色羅紗	紺羅紗線ト白羅紗ト白羅紗ニテ文字ヲ略圖ノ如ク縫著ク	自動車區ニ於テ縦列運轉ノ場合責任自動車運轉手 昭和十三年十月鐵道總局運轉第九十二號鐵道運轉事故復舊取扱手續第十四條ニ依リ指揮者

三六四

追一  
三六五

ス	事故復舊責任者	同	「表出味」ト黒羅紗ニテ文字ヲ縫著ク尙左ノ羅紗地色別線ヲ略圖ノ如ク附ス 驛……………赤色 機關區……………深綠色 檢車區……………紫色 工務區……………白色 電氣區……………綠色	同手續第十三條ニ依ル責任者
ル	事故復舊從事員	木綿又ハ代用品地色 左ノ通 驛……………赤色 機關區……………深綠色 檢車區……………紫色 工務區……………白色 電氣區……………綠色	無地	同手續ニ依ル從事員
ヲ	鐵道救護班員	白色バンチング	昭和二三、一ノ達甲第一八六號會社救護班旗及胸章ノ制式ニ依ル	鐵道救護班員ニシテ事故現場ニ出動スル場合
ワ	警乗 綠色羅紗	中央ニ緋羅紗ニテ社紋ヲ、白羅紗ニテ社紋ヲ「警乗」ト文 字ヲ縫著ク	警備手長及警備手ニシテ列車又ハ自動車警務ニ服務スル場合	
カ	愛路 同	中央ニ緋羅紗ニテ社紋ヲ、黃羅紗ニテ社紋ヲ「愛路」ト文字ヲ縫著ク	警備手長及警備手ニシテ愛路工作ニ服務スル場合	



カノ二	守 衛 長 緑 色 羅 紗	「白羅紗」ト白羅紗ニテ文字ヲ縫著ク	守衛長ニシテ廳内外警戒取締守衛ノ監督ニ從事スル場合
ヨ	守 衛 同	「白羅紗」ト白羅紗ニテ文字ヲ縫著ク	守衛ニシテ廳内外警戒取締ニ從事スル場合
タ	監 視 同	「白羅紗」ト白羅紗ニテ文字ヲ縫著ク	警手及監視員ニシテ構内外警戒取締ニ從事スル場合
レ	小車使用責任者 白色木綿又ハ代用品	「白羅紗」ト赤色ニテ文字ヲ染出ス	小車使用ノ場合
ソ	一 般 用 同	中央ニ赤色社紋ヲ染出ス	所屬箇所長ニ於テ必要ト認メタル者
ヅ	電 報 同	一般用腕章ニ社紋ヲ挟ミ「電報」ト黒書ス	驛及電信所員ニシテ電報配達ニ從事スル者
ネ	司令室出入者 同	一般用腕章ニ「司令室出入者」ト黒書ス	司令室出入ノ場合
ナ	燈 房 同	一般用腕章ニ社紋ヲ挟ミ「燈房」ト黒書ス	燈房關係員ニシテ受持探燈箇所巡廻ニ從事スル場合
ラ	測 量 班 員 同	一般用腕章ニ社紋ヲ挟ミ「測量班員」ト黒書ス	特別軍事地域内ノ測量ニ從事スル者
ム	事故復舊通報、材料、給養擔當員 同	一般用腕章ニ社紋ヲ挟ミ夫々「復舊」「通報」「材料」「給養」ト黒書ス	鐵道事故復舊手續ニ依リ通報、材料、給養、擔當員

腕章著用ハ總テ社員外從事員ヲモ含ムモノトス

腕章ノ寸法形狀ハ左ノ通トス

幅百耗、長四百耗、裏附トシ徑三耗ノ丸打紐ヲ附ス

木綿地ノモノニ在リテハ芯地ヲ入ルルモノトス

腕章ノ著用位置ハ左腕上膊部トス

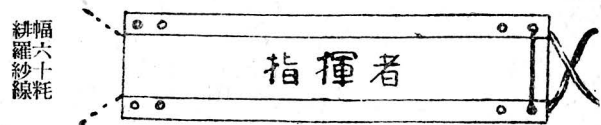
鐵道工場ニ於テ職場作業用トシテ腕章ヲ必要トスル場合ハ工作局長ニ於テ前項ニ準ジ適宜之ヲ定メ鐵道總局長ニ報告スベシ之ヲ變更シタルトキ亦同

第二條 腕章ノ取扱方ハ昭和十四年五月鐵道總局第一號鐵道總局貸與品取扱手續ノ共用扱ヲ準用スルモノトス

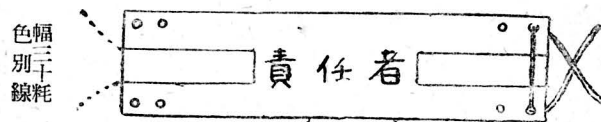
第三條 鐵道局長（鐵道局ノ管理ニ屬セザル箇所ニ在リテハ其ノ所屬箇所長）ニ於テ職務上腕章貸與ノ必要アリト認メ前各條ニ依リ難キ場合ハ事由ヲ具シ鐵道總局長ニ申請スベシ

(腕章略圖)

事故復舊指揮者



事故復舊責任者



○鐵道總局語學徽章規程 (昭和二三、一二一、鐵總人申第一八號)

鐵道總局語學徽章規程左ノ通制定ス

鐵道總局語學徽章規程

第一條 日本人(朝鮮人ヲ含ム)以外ノ鐵道總局所屬社員ニシテ會社語學檢定試驗規程又ハ鐵道總局語學檢定試驗所定ノ日本語試驗ニ合格シタル者ハ本規程ニ依リ語學徽章(以下徽章ト稱ス)ヲ佩用スベシ

第二條 徽章ノ制式ハ左ノ通トス

一 品質 眞鍮臺

二 形狀 長徑二十七耗短徑二十耗厚サ一耗ノ橢圓形ニシテ地質碧色七寶ノ表面ニ黃色ニテ一條ノ瑞雲ヲ其ノ下部ニ白雪ヲ頂ケル綠色ノ富士及淡紅色ノ櫻花片ヲ配シ中央ニ銀色ニテ字畫七耗ノ語學等級ヲ表示シタル文字ヲ裏面ニ「鐵道總局語學徽章」ノ文字ヲ入ル

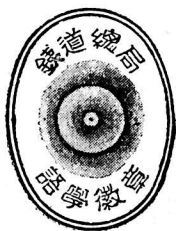
三 種類 特等 前項形狀ノ中央文字ヲ「特」トス

一等 前項形狀ノ中央文字ヲ「壹」トス

二等 前項形狀ノ中央文字ヲ「貳」トス

三等 前項形狀ノ中央文字ヲ「參」トス

四等 前項形狀ノ中央文字ヲ「四」トス



第三條 徽章ノ取扱方ハ左ノ通トス

- 一 第一條ニ依ル合格者ニ對シ各等級毎ニ一人ニ付一個ヲ貸與ス
- 二 本徽章ノ貸與ヲ受クル者ニシテ更ニ上級ノ試験ニ合格シタルトキハ舊徽章ト引換ニ新等級ニ依ル徽章ヲ貸與ス
- 三 本徽章ハ右胸部乳下ニ佩用スルコト
- 四 退職、非役、待命、死亡等ノ場合ハ所定ノ手續ニ依リ返納スルコト
- 五 亡失シタルトキハ左ノ辨償金ヲ徴收ス
  - 一個ニ付 金二十錢

前項ノ辨償金ハ鐵道總局共通費勘定、雜收入、雜收入ニ收納スルコト

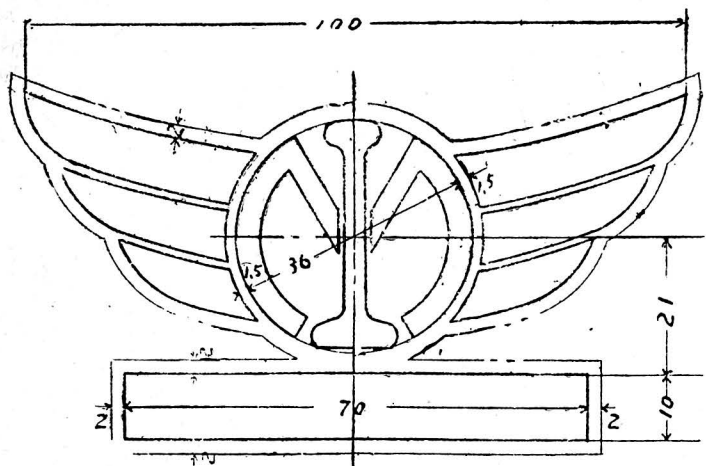
六 所屬長ハ各被服カードニ記入整理シ置クコト

第四條 本徽章ハ第一條ニ依ル資格者以外ノ者ノ佩用ヲ禁ズ

○滿鐵青年隊役員徽章並隊員徽章 (昭和十四、一三、一二年第三三二號)

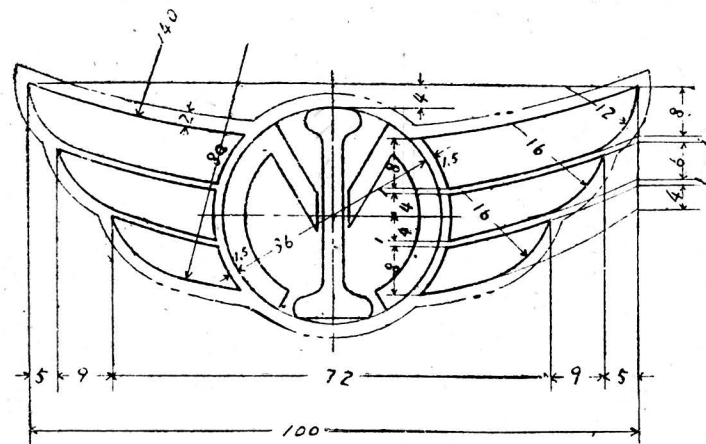
滿鐵青年隊役員徽章並隊員徽章左ノ通制定ス

役員徽章



社紋並横線ハ 赤色  
三對ノ羽ハ 黃色  
地色ハ 綠茶色  
長サノ單位ハ 耗

隊員徽章



社紋ハ 赤色  
三對ノ羽ハ 黃色  
地色ハ 緑茶色  
長サノ單位ハ 耗

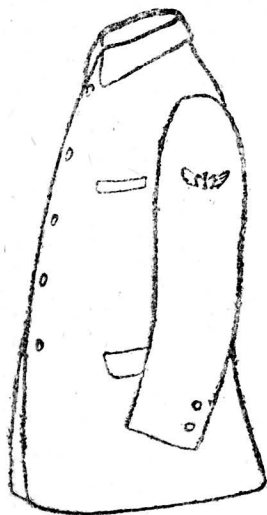
○滿鐵青年隊役員徽章並隊員徽章取扱方  
(昭和一五、四達甲第三九號)

改正 昭和一七、六達甲第八一號

滿鐵青年隊役員徽章並隊員徽章取扱方左ノ通定ム

滿鐵青年隊役員徽章並隊員徽章取扱方

一 滿鐵青年隊役員徽章並隊員徽章（以下徽章ト稱ス）ハ制服、外套（防寒外套ヲ含ム）、略服ノ左袖ニ之ヲ裝著スベシ



徽章ノ社紋中心ガ袖丈（前面縫目ト縫目ノ中央ヲ袖口ヨリ肩ノ附根迄計リタルモノ）ノ四分ノ一ノ中トス

二 徽章ハ青年隊ノ役員及隊員ニ對シ前號被服各一著ニ付一箇ヲ貸與ス

三 徽章ノ貸與期間左ノ通

被服ノ貸與ヲ受クル者

貸與被服ト同一

被服ノ貸與ヲ受ケザル者  
在隊又ハ任期中

但シ期間中自然汚破損甚シキモノニ對シテハ引替貸與スルコトヲ得



- 四 役員被免及隊員除隊ノ場合ハ徽章ヲ返納セシメ再用スベシ
- 四ノ二 隊員轉勤ノ場合ハ着用ノ儘赴任セシメ物品保管轉換調書ヲ以テ引繼グベシ
- 五 徽章ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ左ノ辨償金ヲ徴收シ本隊設置箇所ノ相當科目ニ收納スベシ  
一箇ニ付 金二十二錢
- 六 徽章ハ部所長ニ於テ共用取扱被服ニ準ジ整理スベシ

### ○效績章及略章佩用心得 (昭和一二、五 達甲第一八號)

效績章及略章佩用心得左ノ通定ム

效績章及略章佩用心得

- 一 效績章ハ左ノ場合之ヲ佩用スルモノトス  
1 社内ニ於ケル一般舉式フトキ
- 2 其ノ他特ニ指定セラレタルトキ
- 二 略章ハ勤務中常時佩用スルモノトス
- 三 效績章ハ左胸部ニ佩用スベシ
- 四 略章ハ詰襟服ニ在リテハ左襟、背廣服ニ在リテハ左襟見返シノ鈕孔、和服及婦人服ニ在リテハ左胸部ニ佩用スベシ
- 五 效績章及略章ヲ紛失又ハ毀損シタルトキハ事由ヲ具シ所屬長經由總裁室人事課長ニ再授與ヲ願出ヅベシ

### ○獨立守備大隊ニ對スル社員心得方 (明治四〇、 總第七號)

今般我南滿洲鐵道沿線ニ配置セラレタル獨立守備大隊ハ鐵道線路及之ニ附屬スル電線其ノ他ノ財産ヲ守備セラルルモノニシテ我會社ハ之ガ守備ニ依リテ完全ニ其ノ業務ヲ營ムコトヲ得ル次第ナレバ會社社員タル者ハ平素守備隊長以下ノ將卒ト連絡ヲ保チ鐵道守備上必要ナル事件ヲ通報シ親睦ヲ旨トシ意思ヲ疏通シ置キ事ニ膺リテ違算無之様特ニ注意セラルベシ

### ○職務以外線路ノ通行禁止取締方 (大正四、 總事庶甲第一號)

會社使用ノ滿洲國人等ニシテ職務以外ニ往々鐵道線路ヲ通行スル者アル爲ニ汽車進行ニ際シ危險アルノミナラズ線路ノ保存警戒上ニモ支障不尠ニ付自今嚴ニ其ノ通行ヲ禁止スル様取計ハルベシ